

令和4年10月15日

# futbol y vida

Poco a poco ...  
boco y boco ...



10年ぶり選手権二次トーナメントで逆転勝利!!  
國學院久我山に真っ向勝負でチャレンジする!!

鬼門の初戦は延長戦の激闘を制し、東京農大一に 2-1 勝利!!

次戦は、超サッカーエリート軍団の國學院久我山高校にチャレンジ!!

10月9日(日)、待ちに待った選手権大会東京都予選二次トーナメント VS 東京農大一高校が、堀越学園高尾グラウンドで行われました。秋雨前線の影響で直前の週は雨の日が多く、いつものようにトレーニングができずに苦労しましたが、外部施設の人工芝グラウンドを借りて二回トレーニングを行うなど、選手権二次トーナメントでの勝利を目指して意欲的に活動をしてきました。そして、この三週間継続してトレーニングしてきた成果を多くの観衆（堀越会場は有観客）が見守る中で、“**New K's football style**”を披露する時がやって来ました。

堀越会場は緑の生える素晴らしい人工芝のグラウンドで、バックスタンド後ろの木々の風景は、来るたびにヨーロッパのクラブハウスを髣髴させます。この環境の中で高校サッカーができるなんて子どもたちは幸せですね。会場校には感謝です。

さて、選手権は農大一高のキックオフで始まりしました。立ち上がりこそは一進一退の展開でありましたが、中盤辺りから片倉高校のペースでゲームは進みます。時折、相手ツートップ⑨、⑩の速さとコンビネーションでピンチを作られますが、こちらの守備陣も粘り強く対応しシュートを打たせません。こちらにも決定機を多く作り出しゴールの予感はあるものの、やはり選手権二次トーナメントともなると最後のアプローチは厳しく、簡単にはゴールを奪うことができません。結局、前半は、0-0で折り返します。

## 2022 選手権予選二次トーナメント VS 農大一 SNAP



## 激闘の勝負は延長戦へ、田中(2年)の決勝ゴールで東京都ベスト16に!!

後半早々に思いもがけない形で失点をしましたが、公式戦経験豊富の片倉高校はお互いに声を切らさずに反撃に出ました。後半10分には足の止まった相手を押し込み熊谷(2年)がミドルシュートを叩き込み同点に。その後もバリエーションに富んだ攻撃でチャンスを作りましたが、相手GKのスーパーセーブや守備陣の身体の張ったプレーで追加点を許さずにゲームは延長戦に。

延長戦では、この夏のトレーニング成果が子どもたちの自信の裏付けとなって積極的に攻勢に出ます。すると延長前半9分にこの日大活躍の大村(3年)のセンタリングを田中(2年)がゴールに突き刺し逆転しその後の相手の攻撃をシャットアウト。格上の東農大一高校に2-1で勝利。東京都ベスト16に進出し、片倉高校サッカー部にとって新たなページの始まりとなりました。

## 国学院久我山高校という高く険しい山に登る!!

選手権の組み合わせ抽選会から分かっていた事実。東京農大一高校に勝利すると国学院久我山と闘える。しかも、選手権という大舞台で久我山と真剣勝負ができるのですから、高校サッカー選手冥利に尽きます!!国学院久我山高校といえば、「美しく勝て」というチームスローガンのもと、東京一の技巧派軍団として認知度が高く、**<サッカーエリート集団国学院久我山高校>**選手権では全国大会に**8回出場**し、2015年の選手権では**準優勝**に輝いています。久我山の選手はJ下部や有名クラブチーム出身者、国体代表候補選手もいます。現在、今年度のT1リーグでトップに立つ、言わずと知れた超サッカーエリート集団です。



さて、久我山高校相手にどのように闘うか…?強豪校相手に秘策を考えてみたり、守備重視で引いて闘うより、このチームで積み上げてきた**“New K’s football style”**を明日はいつも通り自信を持って貫き通すしかありません!!

久我山戦はどんなゲーム展開になるのか?スタッフ・関係者一同楽しみにしています。



**<“New K’s football style” 自信を持って強豪国学院久我山にチャレンジする!!>**